

文化振興条例に基づき県が講じた施策の実施状況について

1 歴史文化資源の継承と活用に関する基本的施策

(1) 地域住民の誇りの醸成等

事業名	実施状況	担当課名	
世界遺産ジャーナル制作事業	県内既登録の3資産と世界遺産の仕組みや価値を発信し、県内外だけでなく、国外も含めた登録への機運醸成を図るため、「世界遺産ジャーナル」第6号（英語版）・第7号（日本語・英語版）・第8号（日本語版）を発行 ・発行時期：令和5年7月（第6号英語版）、令和5年12月（第7号日本語版）、令和6年3月（第7号英語版、第8号日本語版） ・発行部数：日本語版各20,000部、英語版各5,000部 ・内 容：特集記事、世界遺産解説、「飛鳥・藤原」紹介	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
奈良県文化資源活用大綱推進事業	文化資源活用大綱に基づき、歴史文化資源の本質的価値の理解を促す取組を推進 歴史を題材に分かりやすく構成した冊子を制作 ・タイトル：飛鳥・藤原を歩く ・発行部数：日本語20,000部、英語6,000部	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
世界遺産登録推進事業	世界遺産暫定一覧表に記載された「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録実現に向け、県、橿原市、桜井市、明日香村で構成する世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会において登録推進に向けた取組を実施 ・推薦書作成準備事業 ・講演会の開催 内容：地域とあゆむ世界遺産～「飛鳥・藤原」の世界遺産登録を目指して～ 時期：令和6年1月20日（土） 場所：かしはら万葉ホール 300名参加 ・啓発ブース出展 内容：GOODLIFEフェアへの「飛鳥・藤原」出展 時期：令和5年9月1日（金）～3日（日） 場所：東京ビッグサイト	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
世界遺産保存管理事業	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」3県協議会（奈良県・三重県・和歌山県）の運営 ・開催回数：総会1回、専門委員会1回、行政担当者会議1回 ・開催内容：整備や追加登録等にかかる協議、保全活動等について情報交換	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
「なら記紀・万葉プロジェクト」推進事業	令和5（2023）年は天武天皇即位1350年の節目の年であることから、「天武・持統天皇とその時代」をテーマとした講座やイベントを実施 ・天武・持統天皇講演会の開催 （2回開催、延べ761人参加） ・天武天皇ゆかり地ウォークイベント（350人参加） ・天武・持統天皇首都圏講座（2回開催、延べ88人参加） ・歴史文化体験フェスティバル（開催期間：令和5年10月21日～22日、843人参加） ・天武・持統天皇を題材にした動画コンテンツ等の制作 ・「飛鳥・藤原」を舞台にした短編映画の制作	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課

事業名	実施状況	担当課名	
史跡等整備活用補助金	市町村が実施する国指定史跡等文化財の積極的な活用につながる整備活用、土地買い上げ等、学術発掘調査に対し補助 ・採択数：16件	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
文化資源活用補助金	未指定文化財を含む地域の歴史文化資源を活用した地域振興に資する取組（保存・修理、活用のための整備、普及啓発のための情報発信）に対し補助 ・採択数：20件	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
古民家活用イベント実施事業	地域の活躍の場を求めている人がいることに鑑み、協働のもと、移築復原展示されている古民家を会場に活動してもらえる内容のイベントを、応募者の運営により開催 ・イベント数：20件 ・イベント総参加者数：1,458人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （民俗博物館）

（２）文化財の修復、公開等に対する支援

事業名	実施状況	担当課名	
解説員等の資質向上事業	文化財修復の意義、文化財を守り未来へ受け継ぐことの大切さについて、理解を深め、新たな価値を発見できるよう、なら歴史芸術文化村において学芸員等とともに館内をめぐる修復工房見学ツアーを開催 ・開催日：毎日開催（休館日を除く） ・ツアー参加者数：1,952人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 （なら歴史芸術文化村）
文化財保存事業費補助金	国指定及び県指定文化財等の保存、修理買収等に関する補助 ・採択数：建造物の保存修理等 47件 美術工芸品等の保存修理等 23件 史跡地の公有化 9件 等	文化・教育・くらし創造部	文化財保存課
史跡等整備活用補助金（再掲）	市町村が実施する国指定史跡等文化財の積極的な活用につながる整備活用、土地買い上げ等、学術発掘調査に対し補助 ・採択数：16件	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
文化資源活用補助金（再掲）	未指定文化財を含む地域の歴史文化資源を活用した地域振興に資する取組（保存・修理、活用のための整備、普及啓発のための情報発信）に対し補助 ・採択数：20件	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室

事業名	実施状況	担当課名	
古民家修理現場公開	大和民俗公園に移築復原されている１１件１５棟の古民家のうち、国指定重要文化財「旧臼井家住宅」及び奈良県指定有形文化財「旧松井家住宅」の修理現場を古民家修理の専門家による解説つきで公開 ・開催時期：令和5年11月3～5日、令和6年2月24～25日 ・参加者数：1,769名	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（民俗博物館）
京都芸術大学との博学連携協定	有形民俗資料の保存・継承、活用に関する教育研究活動の相互協力と人材育成に寄与を目的に、博物館の有形民俗資料を貸出し大学において、修復実習、調査、研究、論文等の執筆に寄与 ・貸出件数：15件	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（民俗博物館）
奈良県観光キャンペーン事業（うち、社寺と連携したプロモーションの実施）	秘宝・秘仏特別開帳情報等を掲載した「祈りの回廊」パンフレットを発行し、観光案内所、主要な鉄道駅、イベントでの配布等により発信 ・発行回数：2回 ・発行部数：各10万部 「祈りの回廊」ホームページで秘宝・秘仏特別開帳情報や特集内容を発信	観光局	観光プロモーション課
朱雀門ライトアップ設備維持管理事業	観光振興に資するため、朱雀門を通年でライトアップし、光のスポットとして演出	地域デザイン推進局	平城宮跡事業推進室
一日文化財保安官委嘱式	文化財の管理者や県民の文化財保護意識の高揚を図るため、「文化財保護強調週間」に併せて、県内大学の学生2名を一日文化財保安官に委嘱 ・県内社寺を訪問し、文化財の防犯に関する確認及び助言を実施	警察本部	生活安全企画課

（３）交流の促進

事業名	実施状況	担当課名	
古代歴史文化に関する共同研究事業（第３期）	古代歴史文化の調査・研究に関心のある各県が、これまでの研究成果を基礎に、連携して調査研究を進めることにより、日本全体としての大きな古代史の流れの解明に取り組み、全国に歴史文化情報を発信 ・第１７回研究集会の開催「古墳時代の中央と地域」 １日目：令和５年９月12日（火） 会 場：岡山県庁分庁舎 ６階 共用会議室 601 ２日目：令和５年９月13日（水） 会 場：岡山県立博物館 講堂	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（橿原考古学研究所企画課）
国際考古学研究交流事業	令和６年１月27日～31日に青柳正規所長を代表とする訪問団が中国を訪問し、中国・陝西省考古研究院及び西北大学文化遺産学院と友好共同交流協定書を締結 令和６年２月25日～３月24日の日程で、陝西省考古研究院及び西北大学文化遺産学院に派遣研究員として所員１名を派遣	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（橿原考古学研究所企画課）
敦煌研究院との研究連携検討事業	橿原考古学研究所のさらなる認知度向上、人材育成の強化のため、中国の国家一級博物館である敦煌研究院との研究連携を検討した	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（橿原考古学研究所企画課）

事業名	実施状況	担当課名	
国際文化交流事業	韓国国立文化財研究院と令和４年度に締結した「文化遺産交流協力に関する包括協定」「研究員派遣を通じた交流協力に関する細目協定」に基づき、文化遺産研究の現状を学び合うため、令和６年１～３月に若手研究員１名75日間の相互派遣研修を実施 また韓国新羅地域との研究交流事業を検討するため、令和６年２月に韓国新羅文化遺産研究院に１名を４日間派遣して機関調査を実施	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （橿原考古学研究所企画課）

（４）歴史文化資源の継承及び活用に関する活動の促進

事業名	実施状況	担当課名	
解説員等の資質向上事業（再掲）	文化財修復の意義、文化財を守り未来へ受け継ぐことの大切さについて、理解を深め、新たな価値を発見できるよう、なら歴史芸術文化村において学芸員等とともに館内をめぐる修復工房見学ツアーを開催 ・開催日：毎日開催（休館日を除く） ・ツアー参加者数：1,952人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 （なら歴史芸術文化村）
展示室催事運営事業	文化財や地域の魅力を伝え、文化財の価値だけでなく保存・活用の意義を伝えること等をテーマとした企画展を開催 ・開村一周年記念展 開催期間：令和5年3月21日～5月28日 入場者数：21,509人 講演、ワークショップ等参加者数：132人 ・第3回企画展 開催期間：令和5年7月15日～10月15日 入場者数：24,091人 講演、ワークショップ等参加者数：261人 ・ワークショップ関連展示 開催期間：令和5年11月14日～12月24日 入場者数：9,134人 講演、ワークショップ等参加者数：20人 ・地域連携展 開催期間：令和6年1月20日～3月3日 入場者数：9,522人 講演、ワークショップ等参加者数：245人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 （なら歴史芸術文化村）
「なら記紀・万葉プロジェクト」推進事業（再掲）	令和5（2023）年は天武天皇即位1350年の節目の年であることから、「天武・持統天皇とその時代」をテーマとした講座やイベントを実施 ・天武・持統天皇講演会の開催 （2回開催、延べ761人参加） ・天武天皇ゆかり地ウォークイベント（350人参加） ・天武・持統天皇首都圏講座（2回開催、延べ88人参加） ・歴史文化体験フェスティバル（開催期間：令和5年10月21日～22日、843人参加） ・天武・持統天皇を題材にした動画コンテンツ等の制作 ・「飛鳥・藤原」を舞台にした短編映画の制作	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
奈良県文化資源活用大綱推進事業（再掲）	文化資源活用大綱に基づき、歴史文化資源の本質的価値の理解を促す取組を推進 歴史を題材に分かりやすく構成した冊子を制作 ・タイトル：飛鳥・藤原を歩く ・発行部数：日本語20,000部、英語6,000部	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室

事業名	実施状況	担当課名	
奈良県日本博関連事業	「国家成立の原点“奈良”を辿り、今に続く“日本”を知る」をテーマに、国内外に本県の文化資源を発信 ・県立文化施設での特別講演会の開催（延べ4回） ・墨と筆を用いたワークショップの開催（令和5年9月16日） ・着付け&万葉植物生け花教室の開催（令和5年12月22日） ・万葉花人形の展示（令和5年10月28日～11月5日） ・「太安萬侶墓」発掘調査の報道映像等による記録映像制作及び上映会（1回） ・飛鳥宮跡発掘調査現場公開（令和5年11月25日、25日） ・建造物（古民家）修理現場の公開（令和5年11月3日～5日、令和6年2月24日、25日）	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
文化観光推進事業	文化庁の「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業」を活用し、文化観光の拠点となる文化施設を対象に、デジタルアーカイブ化による展示の向上を実施 飛鳥京跡苑池が観察できるVRコンテンツを制作 「いかす・なら地域協議会」において、世界遺産等の周遊の楽しさを発信する映像を制作、YouTube等を活用した発信を実施	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
考古学と新たな展開による魅力創出事業	特別展では、他館所蔵の関連資料を借用し、館蔵品の魅力を一層際立たせる展示を構成 また上質なミュージアムコンサートの開催など、新たな展開によってコアな考古学・古代史ファン以外にも訴求する取り組みを強化 館の魅力を高め、新たな来館者の開拓を図る 橿考博M I Z U Y A M Aコンサート ・第3回 令和5年 7月2日 来場者：75人 ・第4回 令和5年 12月3日 来場者：70人 ・第5回 令和6年 3月24日 来場者：58人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（橿原考古学研究所附属博物館）
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館特別展の開催	考古学に対する県民、国民の理解を深める機会とするために令和5年度秋季特別展を開催、令和6年度春季特別展の企画、準備を実施	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（橿原考古学研究所附属博物館）
万葉集等古代文化に関する調査研究事業	『万葉集』やこれらに関連する古代文化に関する調査研究を行うとともに、それらに親しむ場を提供 ・万葉集を読み解く連続講座 開催回数：全12回 参加者数：のべ4,613人 ・万葉古代学講座、万葉古代学公開シンポジウム 開催回数：全5回 参加者数：のべ1,507人 *参加者数は会場及びオンライン参加 万葉古代学公開シンポジウムは会場参加のみ ・研究の集大成として年報を発行 ・万葉集関連情報検索システム「万葉百科」の運営・公開	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（万葉文化館）

事業名	実施状況	担当課名	
万葉文化館広報宣伝事業	万葉集を中心とした古代文化の魅力を多様なイベント等を通じて発信するとともに、地域の方に親しみや愛着をもってもらえるよう、季節ごとににぎわいを創出するイベントを開催 ・にぎわいフェスタ万葉（春・夏・秋・冬） 開催時期：令和5年4月15日～6月25日、 7月22日～8月27日、 9月15日～11月26日、 12月16日～3月10日 参加者数：11,326人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （万葉文化館）
万葉文化館展覧会開催事業	視覚による万葉集（万葉日本画）の普及、また日本の伝統技法に培われた日本画への理解を深めるとともに、優れた芸術の鑑賞機会を提供 ・開催催事数：5催 ・総日数：193日間 ・総観覧者数：53,283人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （万葉文化館）
奈良県日本博関連事業	天武天皇即位1350年を契機とする「天武天皇・持統天皇とその時代」をテーマに講座を開催 ・万葉古代学特別講座 国際講演会 開催日：令和5年9月23日（土） 参加者数：229人 ・万葉の日記念講座（奈良） 開催日：令和5年9月15日（金） 参加者数：417人 ・万葉の日記念講座（東京） 開催日：令和5年12月16日（土） 会 場：奈良まほろば館 参加者数：150人 *参加者数は会場及びオンライン参加	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （万葉文化館）
民俗博物館企画展開催事業	民俗博物館本館でのスポット展、企画展の開催 ・スポット展：4催 ・総観覧者数：16,105人 ・企画展：3催 ・総観覧者数：11,249人 古民家を会場としたスポット展の開催 ・開催回数：3催 ・総観覧者数：9,054人 奈良県庁屋上でのサテライト展：1催	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （民俗博物館）
図書情報館資料整備事業	県民の多種多様な資料要求に迅速に対応するため、資料を収集、整備 新規資料整備：9,353冊 うちインバウンド関連図書：約330冊 ・アジア諸国（中国・台湾・韓国等）を知るための資料 ・諸外国の語学学習資料、辞書類 ・海外作家の文学作品、日本の著名な作家の外国語翻訳本等	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （図書情報館）

事業名	実施状況	担当課名	
佐保川周辺のにぎわい創出事業	佐保川沿いの生涯学習拠点として、コンサートや中高年層をターゲットとした学び直し講座を開催 ・図書館学校の開催 - 第1期：全13講座 参加者数計751人参加 - 第2期：全13講座 参加者数計801人参加 - 第3期：全10講座 参加者数計570人参加 ・マルシェの開催 - 春：令和5年4月1日～令和5年4月2日 参加者数：約15,000人 - 秋：令和5年11月4日～令和5年11月5日 参加者数：約6,500人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (図書情報館)
図書館劇場事業	奈良の歴史と文化を探る千田稔館長による公開講座「図書館劇場」を開催 ・開催回数：6回 ・参加者数：703人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (図書情報館)
工房前体験型プログラム実施事業	仏像制作ワークショップを開催 ・開催日：令和5年10月29日・12月9日・12月23日 令和6年1月13日・1月20日・1月21日 ・参加者数：90人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 (なら歴史芸術文化村)
平城宮跡内イベント展開事業	平城宮跡でのにぎわいを創出するため、魅力あるイベントを開催 ・春季イベント 「平城京天平祭・春」 - 開催時期：令和5年5月3日～5日 - 内 容：平城京天平行列、天平衣装体験、東市・西市等 - 来場者数：約38,500人 ・夏季イベント 「天平たなばた祭り～平城京天平祭・夏～」 - 開催時期：令和5年8月18日～20日 - 内 容：天平七夕行列、献上氷、乞巧奠の再現、光のモニュメント、燈花会、夏の七夕夜市等 - 来場者数：約56,000人 ・秋季イベント 「みつきうまし祭り～平城京天平祭・秋～」 - 開催時期：令和5年10月21日、22日 - 内 容：みつきの祝いー新嘗祭をモチーフとした再現、衛士隊の再現、天平マルシェ等 - 来場者数：約23,000人	地域デザイン推進局	平城宮跡事業推進室
平城宮跡の利活用推進事業	平城宮跡歴史公園（県営公園区域）の管理運営 既存施設の活用や民間活力の導入も含めた新たな公園整備方針の検討	地域デザイン推進局	平城宮跡事業推進室
同和問題関係史料センター事業	関係史料の調査 ・調査史料数：40,000点 ・収集史料数：7,500点 研究紀要第28号及び同和問題関係史料第22集を刊行 県民歴史講座を開催 ・参加者数：185人	教育委員会事務局	人権・地域教育課 (同和問題関係史料センター)

（５）人材の育成等

事業名	実施状況	担当課名	
文化財建造物修理現場インターンシップの受入	文化財の保存修理を体験できる建造物修理現場インターンシップを実施 ・参加校、インターン先、参加者数 奈良県立高等技術専門校（橿原神宮出張所） 15人	文化・教育・くらし創造部	文化財保存課
文化財修復人材養成事業（初級）	なら歴史芸術文化村において文化財建造物修復を行う技術者を養成する講習を開催 ・開催時期： 【左官講座】令和5年6月17日～令和6年1月20日 全8回実施 【瓦製作講座】令和5年7月8日～令和6年2月24日 全8回実施 ・参加者数： 【左官講座】 5人 【瓦製作講座】 5人	文化・教育・くらし創造部	文化財保存事務所
体験学習事業	修復人材育成のため、一般向けの体験学習を実施 ・開催時期：令和5年4月15日～令和6年3月16日 体験イベント28回、修理現場見学ツアー5回 ・参加者数：514人（内イベント439人、修理現場見学ツアー75人）	文化・教育・くらし創造部	文化財保存事務所
全国高校生歴史フォーラム開催事業	奈良大学との共催により、高校生を対象に歴史地理関連の研究レポートを募集し、優秀者が発表するフォーラムを開催（令和5年11月25日）	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
文化資源保護国際協力事業	アジア太平洋地域の文化財保護協力の国内拠点として、さまざまな保護協力事業を実施しているユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所へ助成 ・インターネットによる情報発信 ・機関誌「文化遺産ニュース」の発行（2024年3月） ・パンフレットの発行（2024年3月） ・世界遺産教室：県内高校5校にて計6回開催 県内中学校1校で計2回開催 参加者数：県内高校 延べ377人 県内中学校 延べ160人 ・文化遺産セミナー 開催時期：令和6年1月13日 参加者数：198人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
京都芸術大学との博学連携協定（再掲）	実物の資料化にあたって、現実には修理を行うことで、より資料の感覚を掴んでもらい、今後の技術力向上や、論文等の執筆に寄与 ・貸出件数：15件	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（民俗博物館）

（６）歴史文化資源の把握等

事業名	実施状況	担当課名	
地域との連携事業	・未指定文化財の調査を実施 調査件数：1件	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 （なら歴史芸術文化村）
デジタルコンテンツ等制作事業	・文化財の修理記録映像を制作 ・文化財のVRを制作	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 （なら歴史芸術文化村）
広報・プロモーション事業	PRツールの作成配布やプロモーション活動を展開 ・パンフレット、ポスター、SNS投稿等による、効果的なプロモーション活動を実施	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 （なら歴史芸術文化村）
文化資源データベース構築事業	歴史文化資源の総合的・積極的な発信により、奈良県内外の方々の「文化資源と触れる動機付け」、「文化資源に対する価値意識の醸成」につなげるため、データベース及びホームページを運用	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
文化観光推進事業（再掲）	文化庁の「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業」を活用し、文化観光の拠点となる文化施設を対象に、デジタルアーカイブ化による展示の向上を実施 飛鳥京跡苑池が観察できるVRコンテンツを制作 「いかす・なら地域協議会」において、世界遺産等の周遊の楽しさを発信する映像を制作、YouTube等を活用した発信を実施	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
調査・研究事業	記録調査を実施 ・奈良県内の民俗行事：3件 ・奈良県内の民俗資料：2件	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （民俗博物館）
古民家VR（VRツアー及び3Dモデル）作成と公開	移築復原された江戸時代の古民家9軒15棟のうち、旧岩本家住宅（国指定重要文化財）のバーチャルツアー、旧岩本家住宅及び旧前坊家住宅（県指定有形文化財）の3Dモデルを作成、WEB上で公開 古民家の説明文を日本語だけでなく英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）の4言語で表示できるよう多言語化 古民家の外観をWEB上で公開し、あわせて古民家の3Dモデルを一般にも利用可能な形で公開することで、バリアフリーかつ文化財の保存と対立しない詳細な古民家見学を達成し、古民家の魅力を発信	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （民俗博物館）
奈良史料編纂事業	奈良に関する古文書等の史料編纂により、奈良の歴史文化の魅力を資料面から裏打ちするとともに県民にわかりやすく伝えるため、近世の奈良について記述された文書群「庁中漫録」全78巻のうち第17～21巻を翻刻し、『奈良史料叢書 七』として出版 別冊として『奈良史料叢書 一～七』の目次を刊行	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （図書情報館）

事業名	実施状況	担当課名	
奈良県観光キャンペーン事業（うち、社寺と連携したプロモーションの実施）（再掲）	秘宝・秘仏特別開帳情報等を掲載した「祈りの回廊」パンフレットを発行し、観光案内所、主要な鉄道駅、イベントでの配布等により発信 ・発行回数：2回 ・発行部数：各10万部 「祈りの回廊」ホームページで秘宝・秘仏特別開帳情報や特集内容を発信	観光局	観光プロモーション課
奈良県観光キャンペーン事業	世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」という歴史・文化素材を活用した周遊キャンペーン等のプロモーション、ガストロノミー世界フォーラム奈良大会を契機とした「食を目当てとした観光誘客」を図るための食・食文化を発信する特設ページの作成等によるプロモーションを展開	観光局	観光プロモーション課
知れば知るほど奈良はおもしろい観光キャンペーン推進事業	「知れば知るほど奈良はおもしろい」実行委員会において、本県への観光意欲を喚起し、県内全域への観光誘客と周遊観光を促進することを目的として、テーマ別ルートを作成し、ストーリー性を持ったツールとして情報発信やセールス等を実施	観光局	観光プロモーション課
うまし奈良めぐり推進事業	宿泊者数の減少する時期を中心に、独自性のある商品企画（64企画）を旅行会社へ提供	観光局	観光プロモーション課
外国人観光客誘致戦略新市場開拓キャンペーン事業	アフターコロナのインバウンド需要回復を見据えた市場別誘客プロモーションを展開 ・中華圏市場 コーディネーター等と連携し、現地旅行会社へのセールス活動等を実施 ・欧米豪市場 インスタグラムで奈良の持つ魅力（歴史・文化）に関する情報発信を実施	観光局	観光プロモーション課
新拠点情報発信強化事業	新橋へ移転後のまほろば館において、奈良への誘客を促すイベントや講座等を実施 ・長谷寺・室生寺に関するトークイベントの開催 開催時期：令和5年4月1日 参加者数：23名 ・大和地蔵十福に関するトークイベントの開催 開催時期：令和6年2月26日、28日、29日、3月5日 参加者数：計77名 ・吉野山に関するトークイベントの開催 開催時期：令和6年1月27日 参加者数：計41名 ・南都七大寺等、奈良県内の有名寺院に関するトークイベントの開催 開催時期：令和5年9月～3月にかけて全6回 参加者数：計250名 ほか	観光局	観光プロモーション課（奈良まほろば館）

2 文化活動の振興に関する基本的施策

(1) 地域における文化活動に対する支援等

事業名	実施状況	担当課名	
アーティストインレジデンス開催事業	芸術祭「MIND TRAIL 奥大和 こころの中の美術館」の会期と合わせて、地域住民参加型のアートイベントを開催 ・開催期間：令和5年9月16日～11月12日	知事公室	奥大和地域活力推進課
ムジークフェストなら開催事業	文化芸術活動の活性化を図るとともに誘客を促進するため、全国から高い注目を集める音楽祭を開催 ・開催期間：令和5年5月1日～12月31日 ・開催概要：県内社寺、奈良県コンベンションセンター等127会場、483公演 ・来場者数＋動画視聴回数：96,800回	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
奈良県みんなでたのしむ大芸術祭開催事業	県内で行われる文化芸術活動をより魅力的なものとし、さらなる県民の参加を図るため、障がいの有無や年齢などにかかわらず、「みんな」が参加し「たのしむ」芸術祭を開催 ・開催期間：令和5年9月1日～11月30日 ・イベント数：450イベント ・来場者数：約51万人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
文化会館整備事業	奈良県文化会館の整備工事の請負業者を選定し、契約を締結	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
文化芸術活動継続支援補助金	奈良県文化会館がリニューアルオープンするまでの間においても継続的に文化活動が実施されるよう、県内文化団体が県内の公立施設で行う事業の施設使用料に対し補助 ・採択数：6件	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
古民家活用イベント実施事業（再掲）	地域の活躍の場を求めている人がいることに鑑み、協働のもと、移築復原展示されている古民家を会場に活動してもらえる内容のイベントを、応募者の運営により開催 ・イベント数：20件 ・イベント総参加者数：1,458人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（民俗博物館）

(2) 伝統芸能等の継承、発展及び保存に対する支援等

事業名	実施状況	担当課名	
狂言体験教室等開催事業	古来より伝わる能楽や狂言等を通して、日本の伝統芸能に親しみ、郷土への誇りと愛着を育み、また、子どもの豊かな人間性を育むことを目的として、狂言教室を開催 体験教室、ワークショップ：5回 発表会（公演）：1回 参加者数：延べ289人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（なら歴史芸術文化村）

事業名	実施状況	担当課名	
奈良県日本博関連事業 (再掲)	「国家成立の原点“奈良”を辿り、今に続く“日本”を知る」をテーマに、国内外に本県の文化資源を発信 ・県立文化施設での特別講演会の開催（延べ4回） ・墨と筆を用いたワークショップの開催（令和5年9月16日） ・着付け&万葉植物生け花教室の開催（令和5年12月22日） ・万葉花人形の展示（令和5年10月28日～11月5日） ・「太安萬侶墓」発掘調査の報道映像等による記録映像制作及び上映会（1回） ・飛鳥宮跡発掘調査現場公開（令和5年11月25日、25日） ・建造物（古民家）修理現場の公開（令和5年11月3日～5日、令和6年2月24日、25日）	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
民俗博物館企画展開催事業 (再掲)	特別公演「地域と博物館のこれから」（令和6年2月24日） 石垣悟氏（國學院大學観光まちづくり学部准教授）を講師に、まちづくりを指導する立場から、これからの博物館の役割について、古民家の利活用も併せて考える講演を実施 ・場所：民俗博物館本館講義室 ・参加者：32名 イベント（七輪体験とおぜんざい！、風鈴連想ゲーム、古都頂上決戦！奈良漬けVSぶぶ漬け）の開催 ・総観覧者数：341名 古民家で、竹を活用したワークショップの開催（3催） ・総観覧者数：573人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (民俗博物館)
古民家活用イベント実施事業 (再掲)	県民との協働により、文化財の活用と一層の魅力発信を図るため、民俗博物館公園内に移築復原展示されている古民家を会場にしたコンサートや朗読会等のイベントを公募し、応募者の運営により開催 ・イベント数：20件 ・イベント総参加者数：1,458人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (民俗博物館)
奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」事業	『奈良の多様で奥深い魅力を発信する冬の賑わいの場』としてまつりを楽しんでいただき、地域の魅力を新発見・再発見していただくことで、県内各地への誘客につなげるため、伝統行催事の披露、県内各地域の立山展示、御齋会を再現したセレモニー、県内各地のグルメや特産品の販売等を実施 ・開催期間：令和6年1月27日～1月28日 ・開催場所：平城宮跡歴史公園 ・開催内容：伝統行催事の披露、県内各地域の立山展示、御齋会を再現したセレモニー、県内各地のグルメや特産品の販売等を実施	観光局	ならの観光力向上課
観光事業の保護育成事業	本県の観光地ブランド力及び観光客誘客に寄与していると認められる地域の伝統行催事等に対し補助 ・補助実績：3件	観光局	ならの観光力向上課

（３）交流の促進

事業名	実施状況	担当課名	
国際交流員情報発信事業	県に勤務する国際交流員が出身国のさまざまな文化を紹介するため、県民向けの「文化講座」を開催 ・開催回数：１４回 ・来場者数：３６８人	知事公室	国際課
国際交流員の派遣事業	国際化の推進及び国際理解の促進を目的として、県内市町村、学校、国際交流団体等の実施する国際交流や国際理解に関する講座・イベントに講師（国際交流員）を派遣 ・講座・イベント数：26件 ・総参加者数：1,854人	知事公室	国際課 （外国人支援センター）
奥大和地域誘客促進事業	奥大和の広大な自然の中にアート作品を展示し、それらを長時間かけて歩き、自然に包まれながら作品を鑑賞・体験するという新しい形の芸術祭「MIND TRAIL 奥大和 こころの中の美術館」を吉野町、下市町、下北山村にて開催 ・開催期間：令和5年9月16日～11月12日 ・マップのアプリダウンロード数：1,350回 ・紙マップの配布数：約20,000枚	知事公室	奥大和地域活力推進課
アーティストインレジデンス開催事業（再掲）	芸術祭「MIND TRAIL 奥大和 こころの中の美術館」の会期と合わせて、地域住民参加型のアートイベントを開催 ・開催期間：令和5年9月16日～11月12日	知事公室	奥大和地域活力推進課

事業名	実施状況	担当課名	
やまのべアートプロジェクト事業	芸術作品の展示、アーティストによるワークショップ・交流会の実施 ・ トップアーティスト交流事業 専門職の選定による招聘 招聘アーティスト：3名 スタジオトーク：6回 ワークショップ参加者数：97人 ・ 奈良ゆかりのアーティスト交流事業 専門職の選定による招聘 招聘アーティスト：3名 ワークショップ：2回 ワークショップ参加者数：16人 ・ なら歴史芸術文化村滞在アーティスト誘致交流事業 滞在アーティストを公募 招聘アーティスト：1組(2名) ワークショップ：20回 ワークショップ参加者数：65人 作品の鑑賞方法やアートコミュニケーターの役割について、講演会を実施 ・ アートコミュニケーション促進事業 講師による講演 実施回数3回 参加者37名	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 (なら歴史芸術文化村)

（４）県民の文化活動の充実

事業名	実施状況	担当課名	
こどもを音楽で育てる演奏会等開催事業	特別支援学校を対象としたコンサートの開催	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
国際交流員情報発信事業 (再掲)	県に勤務する国際交流員が出身国のさまざまな文化を紹介するため、県民向けの「文化講座」を開催 ・ 開催回数： 1 4 回 ・ 来場者数： 3 6 8 人	知事公室	国際課
えんがわ音楽祭開催事業	天川村洞川地区の温泉街において、街の雰囲気と調和した音楽イベント「えんがわ音楽祭 in 洞川」を開催 ・ 開催期間： 令和5年9月30日～10月1日 ・ 場 所： 天川村立資料館ギャラリーほのぼの洞川温泉街各旅館 ・ 来場者数： 延べ約2, 300名	知事公室	奥大和地域活力推進課

事業名	実施状況	担当課名	
奥大和地域誘客促進事業 （再掲）	奥大和の広大な自然の中にアート作品を展示し、それらを長時間かけて歩き、自然に包まれながら作品を鑑賞・体験するという新しい形の芸術祭「MIND TRAIL 奥大和 こころの中の美術館」を吉野町、下市町、下北山村にて開催 ・開催期間：令和5年9月16日～11月12日 ・マップのアプリダウンロード数：1,350回 ・紙マップの配布数：約20,000枚	知事公室	奥大和地域活力推進課
ムジークフェストなら開催事業 （再掲）	文化芸術活動の活性化を図るとともに誘客を促進するため、全国から高い注目を集める音楽祭を開催 ・開催期間：令和5年5月1日～12月31日 ・開催概要：県内社寺、奈良県コンベンションセンター等127会場、483公演 ・来場者数＋動画視聴回数：96,800回	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
奈良県みんなでたのしむ大芸術祭開催事業 （再掲）	県内で行われる文化芸術活動をより魅力的なものとし、さらなる県民の参加を図るため、障がいの有無や年齢などにかかわらず、「みんな」が参加し「たのしむ」芸術祭を開催 ・開催期間：令和5年9月1日～11月30日 ・イベント数：450イベント ・来場者数：約51万人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
文化会館整備事業 （再掲）	奈良県文化会館の整備工事の請負業者を選定し、契約を締結	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
奈良県美術展覧会開催事業	文化活動の発表の場として、日本画・洋画・彫刻・工芸・書芸・写真の6部門を一般公募する「第74回奈良県美術展覧会」を開催 ・公募数：603件 ・開催期間：令和5年12月13日～12月16日	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
奈良県ジュニア美術展覧会開催事業	県内の青少年の美術活動の充実と振興を図ることを目的とした「第49回奈良県ジュニア美術展覧会」を開催し、次世代を担う青少年の成果発表の場を提供 ・公募数：552件 ・開催期間：令和5年9月18日～24日	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
橿原文化会館ホール関係自主事業	中南和における文化発信拠点として、県民に良質な文化芸術を提供するため魅力あるコンサートを開催 ・開催回数：2回 ・総来場者数：355人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 （橿原文化会館）

事業名	実施状況	担当課名	
県立美術館展覧会の開催事業	特別展の開催（2回） ・「田中一光 デザインの幸福」 開催時期：令和5年4月22日～6月11日 来館者数：7,407人 ・「漂泊の画家 不染鉄」 開催時期：令和6年1月13日～3月10日 来館者数：11,720人 1階ギャラリーにおいて、団体等と連携した関連展示を開催	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（美術館）
奈良の芸術文化継承振興事業	企画展の開催（1回） ・「富本憲吉展のこれまでとこれから」 開催時期：令和5年7月8日～9月3日 来館者数：5,372人 1階ギャラリーにおいて、団体等と連携した関連展示を開催	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（美術館）
開館50周年記念特別展開催事業	特別展の開催（1回） ・「仮面芸能の系譜 仮面芸能のふるさと奈良」 開催時期：令和5年9月30日～11月12日 来館者数：4,435人 1階ギャラリーにおいて、団体等と連携した関連展示を開催	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（美術館）
幼児向けアートプログラム運営事業	神経系の発達著しい幼児期に、個々の感性を生かした「遊び」を通したアート（お絵かきや粘土など）を体験してもらうことにより、自尊感情（豊かな感性と表現等）を養うなど、豊かな人間性を育むプログラムを開催 ・そざいきち 開催時期：令和5年4月～8月 計31回 参加者数：136人 ・てでかんがえる 開催時期：令和5年9月～11月 計12回 参加者数：延べ60人（1回あたり5名） ・幼児向けヴァイオリン体験事業 開催時期：令和5年10月～12月 計6回 参加者数：延べ60人（10名）	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（なら歴史芸術文化村）
狂言体験教室等開催事業（再掲）	古来より伝わる能楽や狂言等を通して、日本の伝統芸能に親しみ、郷土への誇りと愛着を育み、また、子どもの豊かな人間性を育むことを目的として、狂言教室を開催 体験教室、ワークショップ：5回 発表会（公演）：1回 参加者数：延べ289人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（なら歴史芸術文化村）

事業名	実施状況	担当課名	
だれもがみんなアーティスト事業	年齢や障がいの有無にかかわらず、だれもがアート及びパフォーマンスに親しむきっかけとして、また芸術活動に楽しみを発見すること及び自己表現ができる機会を創出するため、ワークショップ及び成果発表展を開催 ・前期パフォーマンス部門 開催回数：3回 参加者数：延べ24人 ・後期アート部門 開催回数：3回 参加者数：延べ18人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 (なら歴史芸術文化村)
やまのべアートプロジェクト事業（再掲）	芸術作品の展示、アーティストによるワークショップ・交流会の実施 ・トップアーティスト交流事業 専門職の選定による招聘 招聘アーティスト：3名 スタジオトーク：6回 ワークショップ参加者数：97人 ・奈良ゆかりのアーティスト交流事業 専門職の選定による招聘 招聘アーティスト：3名 ワークショップ：2回 ワークショップ参加者数：16人 ・なら歴史芸術文化村滞在アーティスト誘致交流事業 滞在アーティストを公募 招聘アーティスト：1組(2名) ワークショップ：20回 ワークショップ参加者数：65人 作品の鑑賞方法やアートコミュニケーターの役割について、講演会を実施 ・アートコミュニケーション促進事業 講師による講演 実施回数3回 参加者37名	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 (なら歴史芸術文化村)
博学連携事業	小学校校外学習の受入 小学校3・4年生を中心に、県内小学校の約4割が校外学習で当館を見学 社会科の学習指導要領に即した「むかしのくらし」展示コーナーを中心に館全体が社会科副読本「奈良県のくらし」の学習拠点でもあり、構造(仕組み)から働きが小学生にも類推しやすい近代民具という文化財を見学することで、“観る”ことが“考える” “気づく”につながり、文化財を実際に間近に観ることの原体験になる場を提供 その他、博物館実習、職場体験、出前授業を実施	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (民俗博物館)

事業名	実施状況	担当課名	
#ならみんぱく 秋まつり・梅まつり	博物館主催の秋・春の二大イベント 古民家活用イベントの集大成であり、地域団体、農林関係者、キッチンカーなどの物販やワークショップが出展する一方、民俗博物館らしい古民家ガイドツアー、民俗芸能公演、古民家修理現場公開、併せてコスプレ撮影といったサブカルチャーとのコラボレーションも実施 #ならみんぱく秋まつり 開催日：令和5年11月3日～5日 集客数：古民家園 3,763人、博物館 3,335人 #ならみんぱく梅まつり 開催日：令和6年2月24日～25日 集客数：古民家園 1,338人、博物館 729人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (民俗博物館)
佐保川周辺のにぎわい創出事業 (再掲)	佐保川沿いの生涯学習拠点として、コンサートや中高年層をターゲットとした学び直し講座を開催 ・図書館学校の開催 第1期：全13講座 参加者数計751人参加 第2期：全13講座 参加者数計801人参加 第3期：全10講座 参加者数計570人参加 ・マルシェの開催 春：令和5年4月1日～令和5年4月2日 参加者数：約15,000人 秋：令和5年11月4日～令和5年11月5日 参加者数：約6,500人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (図書館情報館)
なら歴史芸術文化村交流にぎわい棟食と農の情報発信事業	交流にぎわい棟が食と農の賑わいづくりの拠点として、歴史文化的ストーリーのある食と農に関する情報を発信し、来館者にその魅力を体感いただくセミナー・フェア等を実施 ・食と農をテーマとした各種セミナー（夏休み子どもセミナー、食と農の体験セミナー、団体セミナー等）の開催 (計23回、延べ371名参加) ・文化村周辺の食と農のPR映像及びリーフレット制作と情報発信	食と農の振興部	豊かな食と農の振興課
食と農の賑わい創出事業	なら歴史芸術文化村やN A F I Cを核とした山の辺の道周辺地域の賑わいを創出するため、周辺施設等で体験プログラムを自主的に実践 ・奈良の柿フェア(令和5年10月21日～29日) 柿渋抜き体験、柿スイーツ親子料理教室 ・萱生町で柿のPR販売、大学生考案メニュー販売 (令和5年10月21日) ・奈良のいちごフェア(令和6年2月10日～18日) いちご食べ比べ、いちごスイーツ料理教室	食と農の振興部	豊かな食と農の振興課
奈良フードフェスティバル開催事業	奈良の食の魅力を高め、県産食材の活用や食のネットワークの拡充を推進するため、美味しい奈良の食イベント「奈良フードフェスティバル」を開催 ・令和5年10月7日～10月15日(9日間)、奈良公園で開催 ・来場者数：175,500人	食と農の振興部	豊かな食と農の振興課

事業名	実施状況	担当課名	
奈良の食文化情報調査・発信事業	地域で受け継がれる食文化の調査（郷土食、郷土料理など）や認知度をリサーチ（R5は柿の葉寿司、奈良漬、吉野本葛を中心に調査）して、調査結果等をwebサイトで情報発信するとともにアーカイブとして記録 食文化伝承のためのフォーラムや体験料理セミナーを実施 ・奈良の食文化魅力発見フォーラム 開催日：令和6年3月12日 参加者数：70名 ・奈良の食文化体験セミナー（柿の葉寿司、奈良漬、吉野本葛） 開催日：令和6年2月18日、2月24日、2月25日 参加者数：のべ47名	食と農の振興部	豊かな食と農の振興課
まちなみ資産と芸術を活用したまちづくり推進事業	歴史的な町並みとアートを活用した創造的なイベント「奈良・町家の芸術祭はならあと」を開催 ・開催期間：令和5年10月20日～10月30日 （各開催エリアの延べ開催日数：28日） ・開催エリア：宇陀松山、橿原・今井、桜井戒重・本町通、吉野町三茶屋・殿川 ・開催テーマ：地球に優しいエコロジカルな芸術祭 ・総来場者数：約14,100人	地域デザイン推進局	まちづくり連携推進課
文化芸術による子どもの育成事業	子どもたちに質の高い芸術文化を鑑賞・体験する機会を確保し、将来の芸術家や観客を育成するため、県内小中学校等を対象に、芸術文化団体による実演、芸術家派遣やワークショップを実施 ・対象学校数：60校	教育委員会事務局	学ぶ力はぐくみ課
郷土の伝統、文化、自然等に関する学習充実事業	郷土を愛する態度を養うため、県立高等学校を対象に、郷土の伝統、文化、自然等に関する学習（奈良T I M E）、学習研究発表会を実施 ・対象学校数：29校 高等学校向けに「奈良T I M E指導事例集」を作成、配布、小・中学校向けに「郷土学習の手引き」を周知	教育委員会事務局	高校の特色づくり推進課 学ぶ力はぐくみ課

（５）人材の育成等

事業名	実施状況	担当課名	
県立ジュニアオーケストラ運営事業	一流の音楽家による指導を通じて、未来のトップアーティストを育成することを目的として創設された「県立ジュニアオーケストラ」の運営 ・コンサート等の開催回数：5回 ・団員数：33名	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
未来の演奏家育成事業	Japan National Orchestra（株）との連携協定に基づき、未来の演奏家を育成するための取組を実施 小学校、中学校、高等学校及び大学において楽器指導や公演を実施 ・延べ参加者数：約2,000人	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
文化会館整備事業（再掲）	奈良県文化会館の整備工事の請負業者を選定し、契約を締結	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
奈良県美術展覧会開催事業（再掲）	文化活動の発表の場として、日本画・洋画・彫刻・工芸・書芸・写真の6部門を一般公募する「第74回奈良県美術展覧会」を開催 ・公募数：603件 ・開催期間：令和5年12月13日～12月16日	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
奈良県ジュニア美術展覧会開催事業（再掲）	県内の青少年の美術活動の充実と振興を図ることを目的とした「第49回奈良県ジュニア美術展覧会」を開催し、次世代を担う青少年の成果発表の場を提供 ・公募数：552件 ・開催期間：令和5年9月18日～24日	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
各種ロケ撮影協力	移築復原された江戸時代の古民家9軒15棟はロケ撮影好適地でもあるため、プロアマ、フィルムの規模を問わず撮影希望があり、一般来園者に公開していない古民家内部での撮影を文化財保護の誓約と一定条件を課して許可 これにより古民家をはじめとした大和民俗公園の新たな魅力の発見 広報を可能にするとともに、様々な創作活動の場を提供 ・TV番組ロケ1本 ・コスプレ撮影110人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（民俗博物館）
友好提携先等との戦略的専門分野交流事業	県が友好提携先より習得したい技術やノウハウ、人脈を構築したい分野において、県職員を友好提携先の関係機関に派遣 ・派遣期間：令和6年2月25日～3月24日 ・派遣先：西北大学文化遺産学院、陝西省考古研究院 ・派遣人数：1名（橿原考古学研究所技術職員） ・研究分野：文化財保護	知事公室	国際課

事業名	実施状況	担当課名	
文化芸術による子どもの育成事業 （再掲）	子どもたちに質の高い芸術文化を鑑賞・体験する機会を確保し、将来の芸術家や観客を育成するため、県内小中学校等を対象に、芸術文化団体による実演、芸術家派遣やワークショップを実施 ・対象学校数：60校	教育委員会事務局	学ぶ力はぐくみ課
郷土の伝統、文化、自然等に関する学習充実事業 （再掲）	郷土を愛する態度を養うため、県立高等学校を対象に、郷土の伝統、文化、自然等に関する学習（奈良ＴＩＭＥ）、学習研究発表会を実施 ・対象学校数：29校 高等学校向けに「奈良ＴＩＭＥ指導事例集」を作成、配布、小・中学校向けに「郷土学習の手引き」を周知	教育委員会事務局	高校の特色づくり推進課 学ぶ力はぐくみ課

（６）情報の収集及び発信

事業名	実施状況	担当課名	
音楽を活用した奈良の魅力発信事業	奈良県の社寺とクラシック音楽を融合した動画を作成・配信	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
奈良の食文化情報調査・発信事業 （再掲）	地域で受け継がれる食文化の調査（郷土食、郷土料理など）や認知度をリサーチ（R5は柿の葉寿司、奈良漬、吉野本葛を中心に調査）して、調査結果等をwebサイトで情報発信するとともにアーカイブとして記録 食文化伝承のためのフォーラムや体験料理セミナーを実施 ・奈良の食文化魅力発見フォーラム 開催日：令和6年3月12日 参加者数：70名 ・奈良の食文化体験セミナー（柿の葉寿司、奈良漬、吉野本葛） 開催日：令和6年2月18日、2月24日、2月25日 参加者数：のべ47名	食と農の振興部	豊かな食と農の振興課
文化情報発信強化事業	文化会館の前庭に設置した大型看板を活用し、県の文化イベント（県立美術館実施の4展覧会、ムジークフェストなら及び奈良県みんなでたのしむ大芸術祭）等の情報を発信	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 （美術館）
広報・プロモーション事業 （再掲）	ＰＲツールの作成配布やプロモーション活動を展開 ・パンフレット、ポスター、ＳＮＳ投稿等による、効果的なプロモーション活動を実施	文化・教育・くらし創造部	文化振興課 （なら歴史芸術文化村）

事業名	実施状況	担当課名	
文化観光推進事業 （再掲）	文化庁の「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業」を活用し、文化観光の拠点となる文化施設を対象に、デジタルアーカイブ化による展示の向上を実施 飛鳥京跡苑池が観察できるVRコンテンツを制作 「いかす・なら地域協議会」において、世界遺産等の周遊の楽しさを発信する映像を制作、YouTube等を活用した発信を実施	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
万葉文化館広報宣伝事業 （再掲）	万葉集を中心とした古代文化の魅力を多様なイベント等を通じて発信するとともに、地域の方に親しみや愛着をもってもらえるよう、季節ごとににぎわいを創出するイベントを開催 ・にぎわいフェスタ万葉（春・夏・秋・冬） 開催時期：令和5年4月15日～6月25日、 7月22日～8月27日、 9月15日～11月26日、 12月16日～3月10日 参加者数：11,326人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （万葉文化館）
古民家VRツアー作成と公開	旧臼井家住宅（重要文化財）及び旧前坊家住宅（県指定文化財）は、耐震工事の際に、多くの情報データを収集 それを活用してバーチャルツアープログラムを作成 WEB上で情報を発信	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 （民俗博物館）
奈良県観光キャンペーン事業 （再掲）	世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」という歴史・文化素材を活用した周遊キャンペーン等のプロモーション、ガストロノミー世界フォーラム奈良大会を契機とした「食を目当てとした観光誘客」を図るための食・食文化を発信する特設ページの作成等によるプロモーションを展開	観光局	観光プロモーション課
知れば知るほど奈良はおもしろい観光キャンペーン推進事業 （再掲）	「知れば知るほど奈良はおもしろい」実行委員会において、県、市町村、民間団体が連携して、県内全域のフォトコンテストや冊子等による情報発信を展開	観光局	観光プロモーション課
うまし奈良めぐり推進事業 （再掲）	宿泊者数の減少する時期を中心に、独自性のある商品企画（64企画）を旅行会社へ提供	観光局	観光プロモーション課
外国人観光客誘致戦略新市場開拓キャンペーン事業 （再掲）	アフターコロナのインバウンド需要回復を見据えた市場別誘客プロモーションを展開 ・中華圏市場 コーディネーター等と連携し、 現地旅行会社へのセールス活動等を実施 ・欧米豪市場 Instagramで奈良の持つ魅力 （歴史・文化）に関する情報発信を実施	観光局	観光プロモーション課

事業名	実施状況	担当課名	
新拠点情報発信強化事業 (再掲)	新橋へ移転後のまほろば館において、奈良への誘客を促すイベントや講座等を実施 ・長谷寺・室生寺に関するトークイベントの開催 開催時期：令和5年4月1日 参加者数：23名 ・大和地蔵十福に関するトークイベントの開催 開催時期：令和6年2月26日、28日、29日、3月5日 参加者数：計77名 ・吉野山に関するトークイベントの開催 開催時期：令和6年1月27日 参加者数：計41名 ・南都七大寺等、奈良県内の有名寺院に関するトークイベントの開催 開催時期：令和5年9月～3月にかけて全6回 参加者数：計250名 ほか	観光局	観光プロモーション課

3 文化振興関連施設の活用の促進

事業名	実施状況	担当課名	
奈良公園内における文化の展示力向上検討事業	多くの文化資源が存在する奈良公園の中数値において、魅力ある文化空間を創出 「奈良公園案内書 極」「奈良公園案内書 for student」を作成、活用	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
文化会館整備事業（再掲）	奈良県文化会館の整備工事の請負業者を選定し、契約を締結	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
文化観光推進事業（再掲）	文化庁の「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業」を活用し、文化観光の拠点となる文化施設を対象に、デジタルアーカイブ化による展示の向上を実施 飛鳥京跡苑池が観察できるVRコンテンツを制作 「いかす・なら地域協議会」において、世界遺産等の周遊の楽しさを発信する映像を制作、YouTube等を活用した発信を実施	文化・教育・くらし創造部	世界遺産室
万葉文化館広報宣伝事業（再掲）	万葉集を中心とした古代文化の魅力を多様なイベント等を通じて発信するとともに、地域の方に親しみや愛着をもってもらえるよう、季節ごとににぎわいを創出するイベントを開催 ・にぎわいフェスタ万葉（春・夏・秋・冬） 開催時期：令和5年4月15日～6月25日、 7月22日～8月27日、 9月15日～11月26日、 12月16日～3月10日 参加者数：11,326人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（万葉文化館）
古民家活用イベント実施事業（再掲）	県民との協働により、文化財の活用と一層の魅力発信を図るため、民俗博物館公園内に移築復原展示されている古民家を会場にしたコンサートや朗読会等のイベントを公募し、応募者の運営により開催 ・イベント数：20件 ・イベント総参加者数：1,458人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（民俗博物館）
佐保川周辺のにぎわい創出事業（再掲）	佐保川沿いの生涯学習拠点として、コンサートや中高年層をターゲットとした学び直し講座を開催 ・図書館学校の開催 第1期：全13講座 参加者数計751人参加 第2期：全13講座 参加者数計801人参加 第3期：全10講座 参加者数計570人参加 ・マルシェの開催 春：令和5年4月1日～令和5年4月2日 参加者数：約15,000人 秋：令和5年11月4日～令和5年11月5日 参加者数：約6,500人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（図書情報館）
平城宮跡の利活用推進事業（再掲）	平城宮跡歴史公園（県営公園区域）の管理運営 既存施設の活用や民間活力の導入も含めた新たな公園整備方針の検討	地域デザイン推進局	平城宮跡事業推進室